

かごしまSDGs推進パートナーの取組紹介

企業等名	株式会社鹿児島讀賣テレビ	業種	民間テレビジョン放送業
URL			
現在の取組	<p>●SDGメディア・コンパクトに加盟(資源と創造的才能をSDGs達成のために活用)</p> <p>●世界自然遺産を含めた豊かな自然環境に関する情報発信に加え、自然災害(火山・台風・豪雨ほか)が多い地域のため、日ごろから防災・自然環境改善への意識付けとなる番組や企画を放送【ゴール11, 12, 13, 14, 15】</p> <p>●ドキュメンタリー番組や、報道シリーズ企画、自社制作番組などで、貧困・健康・人権・環境・労働と経済成長・平和など、SDGsの課題解決を考えるコーナーや、特別番組を制作するなど、各種課題を掘り下げて放送・配信【ゴール1, 2, 3, 4, 5, 7, 8, 9, 10, 12, 14, 15, 16】</p> <p>●子供たちの健やかな成長のための情報発信・イベント実施 ・「桜島大根プロジェクト」 鹿児島市桜島の小学校と東京都渋谷区の小学校をリモートで結び、それぞれが桜島大根の栽培・収穫を通じ、お互いの地域に対する知識や交流を深める企画を展開。その模様を継続取材・放送(2021年～2022年。2月放送予定)【ゴール4, 11】 ・「スクールメモリー」 歴史や自然・スポーツなどを通じて成長する児童・生徒を放送で紹介【ゴール4】 ・育児応援イベント「赤ちゃんハイハイ選手権」 同イベントの実施を通じ、様々な世代に子供の健康や育児分担・育児サービスの充実を考える機会を創出(年3～4回実施)【ゴール3, 5】 ・「キッズフリマ」 子供たちにリサイクルと経済を学んでもらう「キッズフリマ」を実施(2021年)【ゴール 8, 12】</p> <p>●住み続けられる地域作りを目指し、地元の魅力を広く発信するイベント『KYT天テレ博』(2014～) ・鹿児島市の中心街地である天文館区の活性化のため、地区商店街や商業施設と連携し、鹿児島の文化・経済など様々な魅力を広く紹介すると共に、観光面での誘客にも繋げている(放送・イベントなど)【ゴール8, 9, 11】</p> <p>●チャリティー活動の継続『24時間テレビ』 ・「24時間テレビ」は福祉・環境・災害復興の3分野を支援しており、KYTは1994年の開局以来、県内の個人や事業者へ福祉車両【ゴール3, 5】、子ども食堂へ大型冷蔵庫【ゴール1, 2】、小学校へパラスポーツキット【ゴール3, 4】、バスケットボール用車いす贈呈【ゴール3】、聴覚障がい者が利用しやすいテレビ【ゴール4】などの贈呈や、身体障害者補助犬【ゴール3】の普及支援を実施 ・環境保護活動支援事業では、屋久島のウミガメ上陸のビーチ清掃を【ゴール13,14】、災害復興支援事業では地域の自然災害復興支援【ゴール14, 15】と義援金贈呈【ゴール17】を行うなど、年間を通じて活動を実施</p> <p>●自社ECサイト「かごしま情熱市場」で地元経済発展への貢献(2021～) ・鹿児島市を含めた鹿児島県内の約40の製造業者・生産者(2021年12月時点)の商品を紹介するECサイトを運営中。放送やWEBを通じ、県内外の消費者へ商品を紹介し販売することで、地元事業者・生産者の売上増に繋げ、将来的な地域産業の活性化と経済発展への貢献を目指す【ゴール8, 11】</p> <p>●社員向けのSDGs推進の取組 ・2020年より、SDGsについて社員向けウェビナーを断続的に実施し、知見を共有(講師は社外専門家、日本テレビ等)。内容は、SDGsの各テーマに関わる勉強会【ゴール2, 3, 4, 5, 16】、県外局の取り組み等の事例報告など ・若手社員中心とした「SDGsプロジェクト」発令(2021年10月)。業務として番組・イベント等でのSDGs推進についての意見をまとめ上申し、全社で取り組む ・全社員向けメーリングストで、SDGメディアコンパクトとして取り組む各分野の情報を発信</p>		

今後の取組

◇放送やイベントを通じ、防災・住み続けられる街づくりなど、地域のSDGs推進を目指す
 ・放送だけでなく自社ホームページ、SNS等で行政の防災情報をはじめ、地域の防災に関する情報を発信し、市民・県民の「命を守る」報道につとめる
 ・ローカルニュース・番組、「KYT天テレ博」、チャリティー活動「24時間テレビ」など自社イベントでSDGsに関する内容を取り上げる
 ・自社報道企画「SDGsウィーク」で県内の取り組み事例を紹介(2021年～)
 【ゴール1, 2, 3, 4, 5, 8, 11, 12, 13, 14, 15】

◇SDGs推進を啓発する各種キャンペーンを展開(貧困・教育・環境・健康ほか)
 ・健康に特化した「カラダに良いテレビ」展開(2020年～県・整形外科医会協力)、「カラダWEEK」でのウォーキングや運動推奨【ゴール3】
 ・若年層による、家族の介護「ヤングケアラー」問題(2022年、取り上げ予定)【ゴール1, 2, 3, 4, 5】

◇誰もが働きやすい職場作り、環境に優しい企業を目指す
 ・「育児・看護・介護制度」「コンプライアンス等各種研修」「在宅勤務」「RPA導入による定型業務の軽減」「LGBTQ勉強会」などは実施・導入済み
 ・2022年は「ヤングケアラー」について社内勉強会を行うと共に、労働環境のさらなる整備(働きやすい職場作り)、「社内の電気使用量や紙資源の一層の削減」など、よりCO2削減に取り組む。既に実施している屋久島のウミガメ浜清掃・天文館清掃(毎年6月・10月)以外にも、「与次郎エリアの清掃・緑化」についても社内プロジェクトチームを中心に検討・調整中(2022年実施予定)【ゴール 3, 5, 8, 11, 13, 14, 15】

・県内企業や個人、団体、学校等、今後SDGs推進に向けた取り組みを検討していく中で、積極的に共創できるよう取り組んでいきたい

関連するゴール

									
○	○	○	○	○		○	○	○	○
									
○	○	○	○	○	○	○			



鹿児島読賣テレビ社屋



チャリティー活動「24時間テレビ」